



## そよ風

Smile! / Service! / Science! 笑顔の大学病院を目指しています

### あべのハルカスに **MedCity21** が誕生しました!

メッドシティ ニジュウイチ  
公立大学法人として全国初の健診施設



本学では、平成26年4月、公立大学法人として全国初の健診施設である「先端予防医療部附属クリニック MedCity(メッドシティ)21」(以下 MedCity21)を、あべのハルカス21階に開設しました。

MedCity21では、大学病院の持つ専門性の高い人材と高度先進医療を活かし、5大疾病(がん、脳卒中、心臓病、糖尿病、精神疾患)、生活習慣病や肝臓病などの早期発見・早期治療を目的に人間ドックを主にした健診事業を実施し予防医療の実践を行います。また、診療部門としてレディースクリニック(産婦人科・皮膚科)や特色のある専門外来を併せて開設します。

人間ドックなどの結果、専門的な治療を必要とする際には本学医学部附属病院での治療が可能であり、また、

高血圧症や糖尿病などの有病者に対しては地域医療機関と連携を図り、健康増進と健康寿命延長による健康都市大阪の実現に向けて社会貢献を行うものです。

同時に、受診者の同意のもと健診データ、血液や尿、遺伝子などの生体試料や遺伝子情報などを貯蔵管理するバイオレポジトリ(バイオバンク)の整備を目的とする「先端予防医療研究センター」を設立いたします。本学医学部が有する研究・解析力により健康状態から病気へ移行する因果関係を探り、それに基づく新診断法、治療法やバイオマーカーを開発して先制医療を実現します。

みなさまのお越しを教職員一同お待ちしております。  
(健診のご予約・お問合せ:06-6624-4011)

## Contents

- ▷ MedCity21が誕生しました
- ▷ 診療科から
  - ・心臓血管外科 (大動脈瘤治療最前線)
  - ・小児外科(子供の便秘)
  - ・小児科・新生児科 (小児の栄養サポート)
  - ・皮膚科(食物アレルギー)
  - ・泌尿器科(ロボット手術)
  - ・中央放射線部(新型MRI)
  - ・総合診療センター(次世代の良医育成をめざして)
- ▷ ボランティア募集情報



2014年5月  
第21号

診療科紹介

眼科



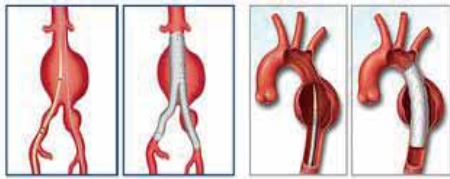
# 大動脈瘤治療最前線

## ～ハイブリッド手術室完成!!

心臓血管外科 平居秀和

超高齢化社会の到来とともに、大動脈瘤は年々増加しています。症状がなく放置すると破裂する危険があり、大変怖い病気です。従来、大動脈瘤の治療は大きな皮膚切開を行い人工血管で

図1 腹部(A)および胸部(B)大動脈瘤に対するステントグラフト治療



(A)腹部 治療前・治療後 (B)胸部 治療前・治療後

置換する手術が一般的でしたが、最近ではステントグラフトを用いて動脈瘤を血管内から治療する低侵襲の手術が可能となり、小さな傷で治療が出来るようになりました。(図1)。

本年3月、当院にハイブリッド手術室が完成いたしました(図2)。ハイブリッド手術室とは、高性能放射線透視装置とこれに連動する高機能手術台を設置した手術室で、手術室と透視装置を統合したという意味でハイブリッドと呼ばれます。当院では血管造影や三次元CT撮影が可能

図2 ハイブリッド手術室



な最新鋭のフィリップス社製の透視装置とマツケ社製の手術台を導入しました。この手術室の完成により、ステントグラフト治療をよりスムーズに、より正確に行う事が出来るようになりました(図3)。また、この最新のシステムにより、患者さんや医療従事者の放射線被爆量が従来のも

図3 ステントグラフト治療



と比較して最大で80%以上低減されるという大きなメリットもあります。

上述の大動脈瘤に対するステントグラフト治療に加えて、今後、大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)の導入も行う予定です。さらに脳外科においても、開頭手術と血管

内治療を同時に行うことで、困難な病変に対する安全かつ確実な治療が可能となり、整形外科領域のハイブリッド手術もより高い水準で行えるようになります。

今後、大動脈瘤の患者さんがますます増加することが予想される中で、高度先進医療の中核病院として、当院はこれまで以上にこの分野の治療に貢献できると考えています。大動脈瘤と診断された場合は、遠慮無く当院の心臓血管外科にご相談ください。



## 子供の便秘

小児外科 栄由香里

うんちをすること(排便)は本来気持ちいいものですが、便秘の子供にとってそれは恐怖です。子供の便秘の原因はいろいろですが、慢性便秘と呼ばれる習慣性のものが多いです。離乳食をきっかけに便が硬く大きくなり、うんちするときに痛く、お尻のあなが切れることもあります。こうなると子供にとって排便は恐怖そのものです。無意識にがまんするようになり、便を腸にため込んでしまいます。ますます便が硬く大きくなり排便が苦しくなります。この悪循環を断ち切ることが慢性便秘の治療です。小児外科にはさまざまな病気で便秘になっている子供が来ています。中には手術など外科的な治療が必要となる子供もいるので、経過をみながら外来で詳しくレントゲンの検査を行うこともあります。小児外科の外来では気持ちのいい排便を手に入れるため保護者と一緒になってトレーニングをしています。慢性便秘の子供も同様の排便トレーニングをすることで快便が得られます。排便がっらいと人生もつらくなります。気持ちのいい排便習慣を身に付けてもらい明るい生活を送ってほしいと思います。



## 診療科紹介 眼科

シリーズ



眼科では、網膜硝子体疾患に力を入れております。なかでも加齢黄斑変性では関西圏でも有数の症例数を擁しております。この病気はいわゆるリタイアした年代の方が罹る病気で、視野のまん中が抜けて見えて視力が落ちる病気です。片方の目に起こるともう一方のよく見える方の目にも起こってきやすい病気です。両目に起こると身の回りの細かいことができず、日常生活に支障が出ます。アイリーアやルセンティスなどの薬が使えるようになっていますが、その使用に当

たって当科の豊富な経験がものを言っています。

また、網膜硝子体疾患の治療に参加の実績が多くあり、現在も積極的に治験の受け入れを行っております。加齢黄斑変性をはじめ、糖尿病黄斑浮腫や牽引性硝子体網膜症候群などにおいて一般に使用が可能になる前の段階で新しい薬を使った治療ができるメリットがあります。ただし、治験対象の病気が随時変わりますので、かかりつけ眼科医にご相談ください。





## 小児に特化した栄養サポート戦略

子供には、大きく次の3つの点から大人と異なる栄養サポートが必要です。

1. 成長→成長に必要なカロリー、栄養素への配慮。
2. 食の変化→母乳、ミルクから離乳食、普通食へと変化する「食」への配慮。
3. 多様な病気→1つのフロア(17西病棟)で神経/血液・腫瘍/外科/代謝/消化器など多岐にわたる小児疾患の看護治療にあたるため、各疾患に精通した栄養計画が必要です。

これらの点に対応するため、小児科医だけでなく看護師・栄養士・薬剤師・理学療法士など多職種のプロが栄養サポートチーム(NST)を結成し、一人一人の小児患者さんの栄養サポート計画を立案・実行しています。

小児に特化したNSTの取り組みは全国的にも数少なく、私たちの取り組みが今後の日本の小児の栄養サポート戦略の基盤となるという気概のもと、日々取り組んでいます。

【小児NST: 毎週月曜日に17西病棟でカンファレンスと回診を実施】



小児の栄養サポートチーム  
(17西病棟)

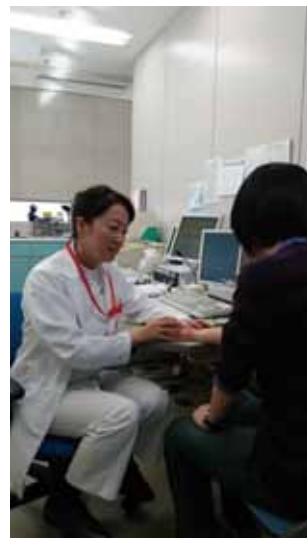


入院患児の保護者の方への  
栄養補助食品説明会



## 食物アレルギー

通常、食物アレルギーは、食物摂取後、数分から2時間以内に発生するとされています。症状としては、蕁麻疹、鼻汁、下痢、喘息様症状が出現したり、重症の場合はアナフィラキシーショックとなる場合もあります。原因食物としては、卵、牛乳、小麦、そば、エビ、ピーナッツなどがよく知られていますが、近年、リンゴ、イチゴ、モモなどの果物アレルギーの方が増加しています。果物アレルギーでは、食物摂取後に口腔内のヒリヒリ感やかゆみが起き、口唇が腫れる事もあります。また、食物摂取後、運動してはじめて、アレルギー症状が出現する、食物依存性運動誘発性アナフィラキシーという疾患もあり、原因食物としては、小麦、エビが多いとされています。



このように、食物アレルギーは多彩な症状をとりますので、まず患者様のお話を良くお聞きするように心がけて診療しております。基本的な食物アレルギーの対処法は、原因食物を避ける事ですので、当科では、積極的に皮膚テストを行い、原因となっている食物を探すようにしています。

## ロボット支援 前立腺全摘除術

### ロボット手術とは

ロボット手術と言いましても、ロボットが外科医の代わりに手術をするのではなく、遠隔操作型の内視鏡手術支援装置であるダヴィンチが外科医の行う腹腔鏡手術を技術的にサポートします。ダヴィンチ手術システムとしては、写真に示すように遠隔操作で作動するロボットアームおよび手術器具からなる本体と、コンソールと呼ばれる手術を行う外科医が内視鏡画面を見ながら操作を行う操縦席のような部位から成り立っています。



### ロボット手術の有用性

まず腹腔鏡下手術の利点としては、内視鏡による拡大された視野による正確な手術操作、出血量の低減、

傷口が小さいため術後回復が早いなどが挙げられますが、最新型ダヴィンチSiを使用したロボット手術では、(1)ハイビジョン3Dモニターにより、より精密な立体観察が可能(通常の腹腔鏡下手術は2Dによる観察のみ)になり、(2)コンソール内での術者の手首の動きを正確に手術器具に再現できることにより、従来の腹腔鏡下手術では困難な手術操作が可能になっています。したがって、前立腺癌の癌制御性の向上をはじめ術後の尿禁制や性機能(勃起能)の確保に貢献することが期待されます。すでに国内外問わず、ロボット支援前立腺全摘除術の他の術式(開腹前立腺全摘除術および腹腔鏡下手術)より秀でた治療成績が数多く報告されています。

### ロボット手術の実際

1. 図のように臍周囲から下腹部にかけて合計6か所の0.5~2.0cm程度の皮膚切開を置き、ポートと呼ばれる筒状の器具を使用してロボット専用手術器具により手術を行います。

2. 前立腺を摘出後は、術前の前立腺癌の悪性度(PSA値や生検検体の病理結果など)により、リンパ節転移の有無を検討するために、前立腺周囲のリンパ節を摘出します。

3. 前立腺周囲の構造物の温存と再建を可能な限り行い、切離された膀胱と尿道をつなぎ合わせます。

4. 手術後は、尿を膀胱から取り出す管(尿道バルーンカテーテル)を尿道から膀胱に留置した状態ですが、手術後約1週間ほどで造影検査を行い、膀胱と尿道が漏れなく繋がっていることを確認できればカテーテルを抜きます。順調に回復できれば、入院期間は約2週間となります。



● 皮膚の傷

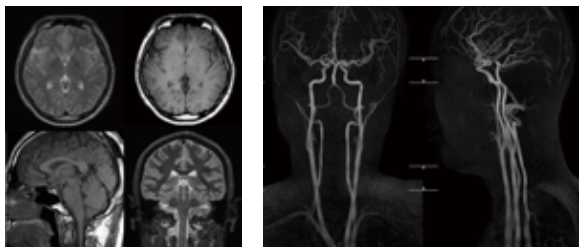
### 治療にかかる費用

ロボット支援前立腺全摘除術は保険適応であり、自己負担額が高額医療申請できる金額であれば上限以上は返金されます。



## 最新! 3T (テスラ) MRI 装置の導入

中央放射線部 市田隆雄



本年4月より最新のMRI装置が稼働しています。MRIは人体の臓器をあらゆる方向から様々なコントラストの画像として写し出すことができます。X線被ばくや検査による痛みが無い体にたいへんやさしい検査です。新装置の特徴は、臨床機器において最大の3T(テスラ)という磁場強度により明瞭な画質で最高の臨床画像を提供できることです。



また、患者様が入るドーム径は従来型より15%以上も広く、室内はLED照明を配して明るくなっていますので暗く狭い所が苦手な方にも十分配慮されたものとなっています。スタッフは専門の放射線科医師、放射線技師、看護師が担当しており、大学病院ならではの疾患に応じた細やかな撮影と確実な診断を心がけていますので安心して検査をお受けください。

なお、検査についてのご相談は気軽にお声かけください。お待ちしております。

## 『次世代の良医育成をめざして』

大阪市立大学 大学院医学研究科 総合医学教育学  
医学部附属病院 総合診療センター  
幕内安弥子、森村美奈、首藤太一



みなさんは「良医」と聞いて、どんな医師を思い浮かべられますか？  
いろいろ思われるでしょうが、コミュニケーション力の高い医師に診療を担当してほしいと願う方は、きっと多いと思います。大阪市立大学医学部では、将来、皆さまに寄り添える良医育成のために様々な取り組みを行っています。

例えば、一般の方々に「仮想患者」「模擬患者」となって頂き、医学部4年生を対象に医療面接実習を行っています(写真)。学生は初対面の方と接して医療情報を聞き取る難しさを体験し、自身の改善点について深く考える非常によい機会となります。少子化・核家族世代の彼らにとって、それまでにこのような機会がほとんどないからです。このほかにも学年に応じて、コミュニケーション力を養成する様々なプログラムを行っています。

こうした実習を通して、学生達は悪戦苦闘しながらコミュニケーション力を育み、良医として様々な年代の方と接することの大切さを感じていきます。これからも院内でも多くの学生の姿を見かけられることと思いますが、私たちと一緒に将来の良医を育むお気持ちで温かく見守って頂ければ大変嬉しく思います。ありがとうございます。

## 病院ボランティアスタッフ随時募集中!

当院では、患者さまに潤いや癒しなど、療養生活が少しでも豊かに過ごせるよう、支援していただける病院ボランティアスタッフを募集しております。

### 外来案内

- 【活動日】 月～金(休日・年末年始は除く)
- 【活動時間】 9:00～12:00 (活動日及び活動時間は応相談)
- 【活動内容】 診療窓口、検査、レントゲンなどへの介助  
補助が必要な患者さんをご案内いただける方

### 園芸

- 【活動日】 毎月第3金曜日(休日は除く)雨天の場合も除く
- 【活動時間】 9:30～11:00(応相談)
- 【活動内容】 病院6階庭園の除草

### その他各種

通訳ボランティア・縫製&クラフト活動・イベントサポート等々

### ◇お問い合わせ先◇

〒545-8586  
大阪市阿倍野区旭町1-5-7  
大阪市立大学医学部附属病院  
ボランティアルーム  
Tel/Fax:06-6645-2694 ※土日祝日を除く  
E-mail: volunteer@med.osaka-cu.ac.jp

### 当院HPのご案内

<http://www.hosp.med.osaka-cu.ac.jp/pac/volunteer.html>

HOME

患者総合支援センター

豊かな療養生活のために

院内ボランティア活動



発行/大阪市立大学医学部附属病院

<http://www.hosp.med.osaka-cu.ac.jp/>

所在地 〒545-8586 大阪市阿倍野区旭町1丁目5番7号 初診受付時間 午前9時～午前10時30分  
電話 (06)6645-2121 (代表) 休診日 土・日・祝日、12月29日～1月3日